

令和3年11月27日

様

静岡福祉文化を考える会

代表 平田 厚

「“若者発” ご近所福祉かるた」及び「“若者発” ご近所福祉かるた 利用の手引き」の送付について

深秋の候 日頃は、福祉文化実践活動に多大なご理解とご支援を賜り深謝申し上げます。

「静岡福祉文化を考える会」は、阪神淡路大震災発生一年後、「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」に取り組む市民活動団体として、平成8年9月結成して26年目を迎えています。

結成当初から、第一「専門性と市民性の融合の関わり」、第二「公開型地域総合型学習の企画と実践」第三「課題解決の向けたプロセス重視」の「3つの活動基調」を掲げ、さらに、第1の柱立て「啓発学習事業」「静岡発(地方発)福祉文化の創造」をめざして、県内各地の実践活動に学び「課題提起」をして「地域総合型啓発学習」の取り組み、第2の柱立て「調査研究事業」県民の協力により、一貫して、その時代の地域社会問題をテーマに調査研究活動に取り組み、その結果をその都度県民と共に地域総合型学習をし、課題解決に向けた取り組み、第3の柱立て「実践地区活動事業」広く県内各地の実践事例を共有し合い「地域診断」のもとに、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開し、「協働」による福祉問題解決のプロセス重視の取り組みの「3つの柱立て」をもと今日に至っています。

本会では、平成20年度から26年度の7年間静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」（高齢者等の孤立・孤独化防止）に取り組んでまいりました。

なかでも、「ホッと私のご近所福祉を創る」をテーマに、平成25年度から平成27年度の3年間、若者と共に「生活圏域におけるささえあい」（ご近所福祉）を議論し合い、この間、約24回、延べ234名の若者が「長寿者宅訪問型研修会」等福祉文化実践活動を展開してきました。

こうした尊い地域総合型学習をもとにまとめた内容を、平成27年度静岡県赤い羽根共同募金助成事業により「若者発 ご近所福祉かるた」（100セット）を企画製作し、県内各地で、具体的な「住民福祉教育」の推進に役立てる「ご近所福祉を学ぶ」教材として、今日まで有効活用してまいりました。

「若者発 ご近所福祉かるた」を活用した活動を展開して6年が経過した今日、改めて「ご近所福祉の復活」を強く実感し、「令和3年度静岡県赤い羽根助成事業 “若者発 ご近所福祉かるた” 活用拡大と住民福祉教育開拓事業」に取り組むこととしました。

「焼津福祉文化共創研究会」との協働と、新たに「共創社会実現研究会」（外部委員委嘱）を立ち上げ、「若者発 ご近所福祉かるた」のこれまでの有効活用度合いを調査し検証するとともに、様々な領域における「ご近所福祉の見える化・わかる化」の取り組みが拡大できる環境を開拓する議論を深め、ここに「若者発 ご近所福祉かるた」100セットの増刷と、「ご近所福祉かるた利用の手引き」の作成、さらには、実践的・体験的地域活動を呼びかけ、有効活用していただく配布地域・領域を検討してまいりました。

つきましては、趣旨ご理解の上、有効にご活用していただきたく、よろしくお願い申し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 厳しいコロナ禍下ですが、今後、活用の機会が出来ましたら、下記まで、活用状況等、「利用の手引き」22Pの「活用レポート」を回答いただければ幸いです。本会の今後の活動に活かしてまいります。（活動状況の記録写真の提供にご協力下さい。）
2. 「若者発 ご近所福祉かるた」を有効活用していただけるよう、周辺の団体・施設・グループ、学校等への貸し出しや紹介等の働きかけをよろしくお願い致します。
3. 尊い県民からの「赤い羽根共同募金」により、制作をいたしました。「かるた」には「赤い羽根マーク」もつけてあります。広報啓発につきましても、よろしくお願い致します。
4. 「かるた」活用等の研修要請はじめ、各種問い合わせにつきましては、下記にお願いします。

●連絡・問い合わせ先：〒425-0041 焼津市石津 751-1 静岡福祉文化を考える会 代表 平田 厚
Tel & fax 054-624-1924 090-4861-4547